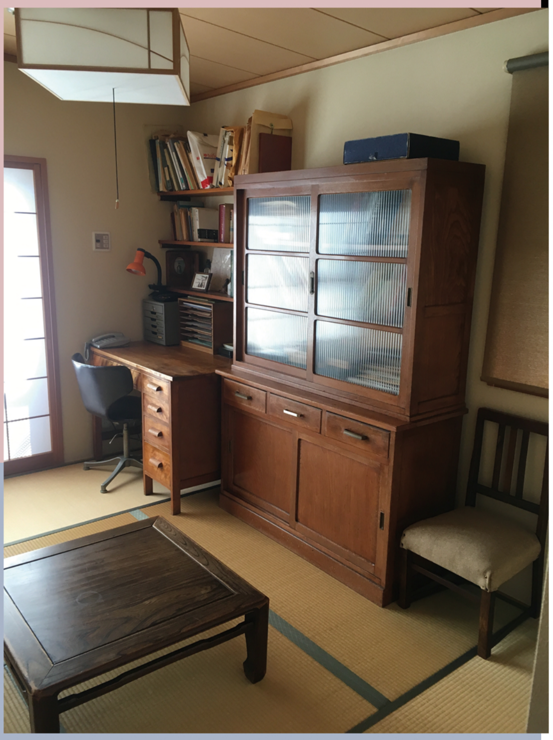
王育德紀念館
Ông Io̍k-tek memorial museum
一生を台湾の夜明けに捧ぐ

小さな書斎が大きな世界を開く

日本に渡ってから王一家は広い家に住んだことがない。1960年「台湾青年社」が旗揚げされた際に住んでいたのは借家だったため、事務所として使うのには不適当と判断し、1961年に豊島区千早町に戸建てを購入した。このとき、書斎は6畳（9.9㎡）であった。

学者である王にとって、書斎は仕事場であった。朝食後、「戦闘開始～！」と言って、急須と湯呑を持って二階の書斎へ行くのが習慣だった。この部屋は、来客時には応接間となり、聯盟の事務所だった頃には、留学生が大勢集まる会議室兼編集室兼発送作業室でもあった。そして、夜には布団を敷き寝室として使っていたのである。

この6畳（9.9㎡）の小さな部屋は、台湾人の未来を開いたのである。



私たちの王育徳。私たちは忘れない。

咱ê王育德，咱無袂記

主辦單位
臺南市政府
承辦單位
臺南市政府文化局

臺南市政府文化局 廣告

館址：臺南市中西區民權路二段30號
（吳園公會堂後方排屋）
電話：06-2219682
傳真：06-2219387
星期三～日　09：00～17：00
Email:ongioktek@gmail.com
FB：王育德紀念館